

中国との歴史戦をどう戦うか

－南京事件を中心に－

通常、戦争の処理は平和条約によって行い、それが終わった後は、歴史問題は外交に持ち込まないのが近代国家です。ところが、中国は1982年の歴史教科書事件、1985年の中曽根首相の靖国神社参拝から歴史問題を外交に持ち込み激しい批判をしてきました。また、天安門事件後、90年代に入り共産党の方針として反日歴史教育を大々的に実施してきました。昨年には対日戦「勝利」記念行事を北京で行い、「南京事件」「731部隊」を題材にした政治宣伝映画を公開しました。このような中国が仕掛けてくる歴史戦に日本はどのように立ち向かうべきでしょうか。北村稔氏（立命館大学名誉教授）に「南京事件」映画について分析いただき、阿羅健一氏（近現代史研究家）が外務省ホームページの南京事件記述について提言いたします。その後、本研究会会長の西岡力がコーディネーターを務めて、お二人の講師と櫻井よしこ氏によるディスカッションを持ち、志を同じくする国会議員の先生方からご挨拶を頂きます。

基調講演



北村 稔（立命館大学名誉教授）

「南京事件と映画『南京照相館』」

阿羅 健一（近現代史研究家）

「外務省 HP、民間人殺傷の問題」



コーディネーター
西岡 力
（本会会長）

ディスカッション

北村稔 阿羅健一 櫻井よしこ
（ジャーナリスト）



令和 8 年 5 月 23 日(土)

開会 13 時 30 分（受付 13 時 00 分）

会 場：全国町村会館 ホール（裏面の地図参照）

参加費：2,000 円 ※事前予約不要（満席の際は立ち見）

主催：歴史認識問題研究会

【お問い合わせ先】

歴史認識問題研究会事務局（長谷）

電 話：090-7982-8670 メール：info@harc.tokyo

会場案内

全国町村会館（東京都千代田区永田町1丁目11-35）

2階 ホール



【アクセス】（駅からの徒歩での時間）

- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口より 徒歩1分
- 東京メトロ 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より 徒歩8分
- 東京メトロ丸の内線・千代田線「国会議事堂前駅」より徒歩11分